

# めぐりと紫波

紫波町では、「循環型まちづくり」を住民主体で推進し取り組んでいこうと環境団体などが活動しています。また、これら環境団体で「しわエコ連絡会」を組織し、町民向けの環境講座などを開催しています。

今年度は4年ぶりにしわエコ連絡会主催の「しわエコまつり2023」を開催することが決まりました。各環境団体の活動を知っていただきながら、楽しくエコな体験が出来る内容となっています。「しわエコまつり」で自分でもできる「エコ活」を見つけてみませんか。

※しわエコ連絡会：紫波町環境衛生組合連合会・紫波町ごみ減量女性会議  
環境マイスター紫波・NPO法人紫波みらい研究所

みんなであのしく環境について考えよう！

## しわエコまつり 2023

**入場無料!!** 日時：2023年12月17日(日)  
午前10時～午後3時

場所：紫波町情報交流館(オガールプラザ)  
市民交流ステージ



- ☆ごみのクイズ・分別ゲーム
- ・相談コーナー
- ★使用済み食用油の回収とリサイクルの紹介

- ★浄化槽のしくみを見てみよう
- ☆着物リメイク作品の紹介

- ☆「ベジブロス」ってなんだろう？

見て、聞いて、体験してみよう！

- ☆水生生物調査についての紹介

- ★トイレトペーパー芯でオーナメントづくり
- ☆積み木であそぼう
- ★紫波の木で作ったスウェーデントーチ



- ★エコおもちゃづくり
- ☆新聞エコバックづくり
- ★おしゃれなふろしきの包み方
- ☆段ボールコンポストの紹介

SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS

主催：しわエコ連絡会（紫波町環境衛生組合連合会・紫波町ごみ減量女性会議  
・環境マイスター紫波・NPO法人紫波みらい研究所）

共催：紫波町

お問合せ：しわエコ連絡会事務局 TEL 019-671-2244(紫波みらい研究所内)

## 紫波町産業まつりで、水環境について体験してもらいました

紫波みらい研究所では、10月14,15日に開催された「紫波町産業まつり」の山王海土地改良区ブースに、体験しながら水環境について知ってもらうコーナーを設け、多くの方に参加していただきました。



浄化槽のしくみを、模型やパネルで見てもらいました



瀧名川の水は汚れているのか、水質測定ができる検査キットを使って見ってもらいました



コネコネマイ石けん(植物性油脂でつくられた純石けん)作りをしながら、川の水を汚さない取り組みを知ってもらいました



### 江戸時代に学ぶエコ生活 その3

省エネ・節電豆知識

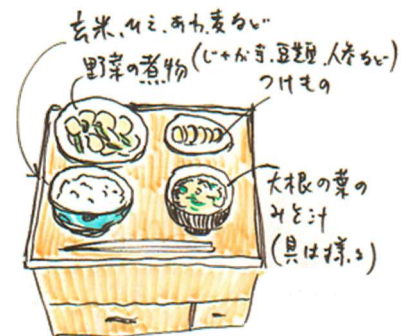
250年以上続いた江戸時代。電気やガスはないそのころ、人々は資源を大切に使い、リサイクルに努めていました。その江戸時代の暮らしから現代にも活かせる暮らしのヒントを学びましょう。

#### 食材は「必要な時に必要な分だけ」

江戸時代の人々は魚屋さんや八百屋さんに行き物に行くのではなく、行商人が家まで売りに来る魚、豆腐、野菜、などをその都度買っていたため、食材を一気に買い溜める必要がありませんでした。もちろん今のようないちいち容器は存在せず、買う際は自前の容器で量り売りしてもらっていたそうです。

このように江戸時代では食材は「必要な時に必要な分だけ買うもの」でしたが、これは決してエコを意識していたわけではなく、一度にたくさんの食材を買う時代ではなかったという背景があります。そのため、当時の人々は限られた食材でも最大限美味しく食べられて満腹になるよう、様々な工夫を凝らしました。例えば、米は高価で少量しか買えなかったため、大根、芋、豆などの腹持ちの良い具を混ぜて炊き、かさを増やしていました。

また、現在のように保温機能のある炊飯器などなかったため、冷めたご飯を美味しく食べるための冷え雑炊や茶漬けなども考案されました。このようなスタイルから、江戸時代に食品ロスが出ることは滅多にありませんでした。



究極の健康食!